前半（８月から９月）のアンケート結果

グラフィカル ユーザー インターフェイス

低い精度で自動的に生成された説明アンケートに出した画像

テキスト

自動的に生成された説明テキスト, 手紙

自動的に生成された説明

新聞のスクリーンショット

自動的に生成された説明タイムライン

自動的に生成された説明

回答数：１３回答

年代別

２０代：１０人（76.9%）

４０代：２人　（15.4%）

５０代：１人　（7.7%）

性別

男性：８人（61.5%）

女性：５人（38.5%）

(1)どの画像が見やすかったか（複数選択可）

画像１：３（23.1%）

画像２：７（53.8%）

画像３：１（7.7%）

画像４：４（30.8%）

画像５：５（38.5%）

画面背景の色彩効果に関する研究という論文では、作業者が無意識にとらえている背景色が作業に与える影響について、心理的イメージ及び作業パフォーマンスの観点から検討している論文である。

テーブル

自動的に生成された説明

グラフ

自動的に生成された説明　　　　　　　　　　　　　　　　←表１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　図１→

この論文では上記の表１の背景色を用いて調査した。その結果、９６や１９２では時間がかからなかったものや、０や２５５のような背景と文字のコントラストが強く文字が見やすいと考えられていたものはパフォーマンスが上がらなかった。（図１）

心理的な観点からみると、コントラストが強いと「見やすい」「澄んだ」などの心的快適を示したが輝度（光源の明るさを示す）の高さから「まぶしい」「目が疲れる」などの心的不快を示した。

この結果から背景と文字のコントラストが強いもの（０や２５５）では「文字の見やすさ」の効果は高いが、「心的部分」で不快感が起きその結果パフォーマンスが上がらなかったと考えられる。

背景と文字のコントラストが弱いもの（９６）では「文字の見やすさ」の効果は少なかったが、背景色自体の色の強さが弱いことから全体より高いパフォーマンスを発揮したと考えられる。中間のもの（１２８）はコントラストが一番弱いことから最も時間がかかったと考えられる。

論文と合わせて

論文では背景と文字のコントラストが強いと見やすいなどの心的快適を示し、コントラストが強く輝度が高くなるとまぶしいや目が疲れるといった不快感が起きるとなっていたが

私たちのアンケートでも似たような結果が出ており、背景を白、文字を黒にしていた画像２や画像５が見やすいという結果になった。

その次に背景を水色にした画像４が見やすいという結果になっており、見やすさという点では画像２や５のような高い評価ではなかったが、コントラストの弱さなどから不快感の少なさによりランクインしたと考えられる。

逆に、コントラストの強い画像３などは論文のように心的不快からか、評価は得られなかったと思われる。

文字の大きさについて

文字の大きさはどうだったか

やや小さい(76.9%)

小さい(77.7%)

大きい(7.7%)

ちょうど良い(7.7%)

この結果はアンケート方式に問題があるということで解決した。

アンケートの取り方の問題で、LINEで画像を渡してアンケートを取ってもらうというやり方をしたため、PCのwebサイトとして作成したサイトが全体的に小さくなったためPCではちょうど良い大きさだと感じた文字サイズがスマホで見ることでかなり小さくなったと考える。そのため作成中のサイトも２回りほど文字サイズを変更することにした。

また、映画の題名などをゴシック体、文章を明朝体にすることで、目のつきやすさと読みやすさを増やした。

一番見やすかったものはどれか

画像１：3（23.1%）

画像２：3（23.1%）

画像３：2（15.4%）

画像４：４（30.8%）

画像５：1（7.7%）

この結果から背景を水色にした画像４が一番見やすいとういう結果になった

背景のデザインが綺麗で見やすい

色合いが入ってきやすい

などの意見が多かった。

しかし、背景が白いので見やすいといった意見や背景が青の場合は文字が少し見えづらく

白であることでより文字が見やすくなるといった意見があった。

これは論文の調査でも似たような結果が出ていて、背景と文字のコントラストが低くなると文字の見やすさの低下が起こる。逆にコントラストを高くすると文字が見やすくなる結果が出ている。

文字の多い画像２と画像３ではコントラストのより強い画像２が高い評価を得た。

しかし、文字のある画像４の評価も高くなったことは、文字はあるものの画像（ポスター）メインの画面であり、文字の見やすさというよりも画像を見るという点では画像と背景のコントラストが強くなる白よりも、落ち着いた色の水色がより心的部分で見やすくなったと考える。

既存のサイトと比べて

TOP画面は他のサイトと比べると画像（ポスター）と文字が全体的に小さかった。

そのため文字と画像を全体的に大きくした。

既存のサイトではTOP画面から公開スケジュールに進み、月ごとの映画の情報へ飛びそこで個々の映画の情報を得る方式が多い印象を受けた。しかし論文によると、階層構造が深いサイトだとクリック数を少なくする必要があるという結果がでていた。そのため私たちのサイトではTOP画面からすでに月ごとの映画情報を見ることができ、そこからすぐに個々の映画の情報を得る方式にしてクリック数を少なくした。

上記の方法を取ったことでTOＰ画面は画像（ポスター）の多い画面になった。TOP画面では文字というよりは画像（ポスター）を見て判断することが多くなると考え背景を水色などの文字とのコントラストを弱くする方式をとる。そうすると論文の結果からだと文字の可読性が低くなるが、画像がメインとなる画面になるので問題ないと考える。

文字の多くなる映画紹介画面やレビュー画面では可読性を高めるために限りなく白に近い背景色を利用しようと考えている。

既存サイトでは文字のフォントは全体的にゴシック体を多く利用しているサイトが多くあった印象だった。論文を調べたところゴシック体は男性的で力強いや、角ばった、硬いという印象があり目につきやすくなり、明朝体には女性的で丸みがあり、柔らかいという印象で柔和性（おとなしい、落ち着いていること）があり読みやすいという結果が出ていた。

そこで私たちの作るサイトは映画の題名やタブなどをゴシック体にして利用者の目に留まりやすくし、映画紹介欄のあらすじなど文章を読むことが必要なものに関しては明朝体を利用して、文字を柔らかくすることで読みやすさを向上させる

記憶された情報量を大きくするには「何をすればいいか迷わない」「タイトルが見つけやすい」といった「利便性」の要素が重要になる。見やすいサイトは多くの情報を取得できるサイトと考える。また、その結果リピーターが増え、閲覧数の多いサイトになる。

そのため映画を探す際に、「迷わず」「作品を見つけやすい」ほかの既存サイトにはないTOP画面を作成した。

アンケート結果から、画像の多い画面では背景があるものは評価が高いが

文字の多い画面では背景が白のほうが多くあった。

そこで画像の多い画面は背景色（薄い水色など）を利用し既存サイトの差別化を行う。

また、文字の多い画面ではコントラストを強くしつつ心的不快を与えない背景色（灰色など色コード：F8F8FF）を利用している。

第2回アンケート結果

画像１と画像２の見やすさ

画像１：１２（背景色あり）

画像２：１７（白）

意見

画像１（背景色あり）

背景色が白だと黒い文字を読むのに目が疲れるため

白背景だと目がチカチカする（２意見）

背景色が良い

水色はポータルサイトで見慣れている

背景の色が良い

２は真っ白なため見づらかった

淡い色を入れている方が目に良くて見やすい

画像２（白）

白背景なため（２意見）

色彩

白を基調としたほうが色覚情報に割く必要がないため見やすい

白だから

背景の色と文字の色

白背景で黒文字は見やすかった

白黒で文字が見やすい

画像（ポスター）がメインのTOP画面でアンケートを取り、私たちの予想では画像と背景のコントラストが弱くなる背景色ありの方が多くなると予想したが、結果は逆になった。

しかし、意見としては、予想していた回答が多かった

画像３と画像４の見やすさ

画像３：１４（白）

画像４：１５（背景色あり）

意見

画像３（白）

白背景だったから（２意見）

白を基調としたほうが色覚情報に割く必要がないため見やすい

白（背景）だから

配色

文字が挟まると明るさが高いほうが勝つから

白黒で文字が見やすく、画像が大きいから

画像４（背景色あり）

色彩

背景が水色だから

背景色

背景の色が良いから

背景色があるから目がチカチカしない

背景色と文字の色

背景が真っ白だと眩しく感じた

淡い色を入れている方が見やすい

文字がメインのニュース画面を利用したアンケート結果は1票差ながら背景色ありのほうが見やすいという結果になった。

アンケート結果は予想とは反していたものの、意見としてはおおむね予想していた回答が多かった。

白背景の意見では文字が見やすかったという意見が多く論文などでもあったコントラストの強さにより文字が見やすいという意見が多くなるという結果に似たものとなった。

また背景色ありの意見では、目がチカチカしないや白よりも眩しくないといった意見が多くあり、これも論文と似たような結果となった。

アンケート結果は予想とは違ったものの、文字の見やすさとしては白背景で黒文字の方が見やすく、背景色を入れると眩しくなどの不快感が少なくなるという予想はあっていた。

見づらかったもの

画像３（白）

文字の色が薄く文字が小さいため説明文がかなり読みづらい

文字が小さくフォントもみづらい

バランスが悪い

文字が多く概要が分かりにくかった

文字が小さい

映画の説明文が小さい

下の説明文が見にくかった

画像４（背景色あり）

青背景がよくない

水色背景で文字が小さい

左右の余白が気になる、減らせば文字を大きくできるのでは

文章に改行がないため読みづらい

文字の大きさ

文章に違和感がでている

説明文の文字が小さい

第２回アンケートまとめ

新しく作成した画面でアンケートをとると

画像がメインの場合は背景色があり目がチカチカしないという理由や文字を読むときに

白背景だと目が疲れない、淡い色を入れているため見やすいという理由が多くコントラストの低い画像１（背景色あり）の方が評価は高かった。

しかしながら、白を基調としたほうが色覚情報に割く必要がないため見やすいというや白黒であるため、文字が見やすいという意見があった。

文字がメインの場合は、白背景の方は文字が見やすいという意見や、文字があると明るさが高い方が勝つといった意見があり、コントラストが高い方が良いという結果がでた。

しかし、背景色ありの方は、背景色があると目がチカチカしないという意見や、真っ白だと眩しく感じたからという意見があった。

画像がメインの場合だと背景色が白であった画面の方が見やすいという意見が多かった一方で、文字がメインの場合だと背景色が白の画面と背景色ありの画面では意見が同数であったことから、個人差があると感じた。

また、アンケートの調査環境からか、画像３や画像４の見づらかった理由として文字が小さいという意見がかなり多かった。これについては、PCで見るかスマートフォンで見るかという環境依存が大きく関係しており、メンバーに話を聞くとスマホで画像を見た場合説明文の文字は小さく感じたという意見がでた。

現在作成しているサイトはPCサイトを基準としているため、スマホ版の作成をしていない。そのためスマホで見ると見づらいという意見多くなったと考える。

以上の理由から、文字の小ささに関しては、誤差であると結論づけた。

文章に改行がないため見づらいという意見があり、これに関してはすぐに変更が必要だと感じた。

左右の余白が気になったという意見もあったが、既存サイトをみると左右に余白のあるサイトが多く問題はないとした。また、デスクトップPCなどの画面の大きいものでみると余白は大きくなるが、ノートPCなど画面の小さいもので見ると余白は小さくなることは確認できている。

水色背景に関しても少し色が強かったからか、青背景が良くない、水色背景だったため見づらいという意見があり、もう少し、薄い色の方が良いのではないかという意見がメンバー間で出ている。

画像１の見づらかった意見で情報が多いという意見があったが、既存サイトの方がより１画面の情報が多いのではないかという意見がメンバー間であり変更なしという結論になった。

既存論文とアンケート結果を合わせて

アンケート結果と論文を見比べると似たような結果が出た。

白背景と背景色あり（水色）の２種類を2ページ分（合計４ページ）アンケートの調査をしたところ、白背景を良いと思った理由の多くは「文字が見やすい」という意見が多く、文字を読むという作業（文字の見やすさ）という点での評価が高かった。一方でコントラストが強くなるからか「目がチカチカする」「眩しく感じた」などの不快感が出る結果となった。

また、「白を基調とした方が色覚情報に割く必要がないため見やすいと感じる」という興味深い意見もあった

次に背景色ありを良いと思った理由の多くは「背景色が白だと黒文字を読むときにつかれるため背景色ありがよい」「目がチカチカしない」など心的快適を示す回答が多かった。

また、背景色が良くないという意見もあった

しかし、白背景の場合と比べて、文字が見やすいといった意見はほとんどなかった。

この結果をもとに論文と見比べてもほとんど差がないことが分かった。

白背景で黒文字のようにコントラストが強いと「見やすい」という意見が多くなり「目が疲れる」「眩しい」という不快感も増えるという結果はほとんど同じであり、またコントラストを弱くすると「心的快適」が多いものの、見やすさの意見が少なるという結果も同じ出会った

この結果から、画像（ポスター）の多いTOP画面では画像と背景のコントラストを弱める背景色ありにし、ニュース画面など文章の多い画面に関しては背景色を白や灰色にするなどの変更が必要だと感じた。

文章の多い画面を真っ白にするとコントラストが強くなり「目がチカチカする」「眩しい」という可能性を考慮して薄い灰色などに変更を考えている。

既存サイトとの差別化を図るため、文章を明朝体に変更を行った。

文字のフォントに関して題名は「ゴシック」、文章を「明朝」にしてアンケートを取った。

理由としては目につきやすい題名を力強い、男性的であるという意見のある（既存論文から）目につきやすいゴシック体にし、文章は柔らかい、読みやすいという意見のあった明朝体にすることで論文調査から得た情報で私たちの考えるデザインは有用かを知りたかったからである。また、既存サイトとの差別化を図るための要素の一つでもある。

結果としては、大きな反応などは見られなかったが、「説明文のフォントが見づらい」や「文字が薄い」という意見があった。

論文でも触れられていたように、「ゴシック体」では装飾は少なく文字の太さが均一であるが、「明朝体」は起筆部の打ち込みや終筆部のウロコなどの装飾があり、文字の太さが均一ではない。

そのため、文字が薄いという意見や、フォントの見づらさにつながったと思われる。

この結果から、題名だけでなく文章についてもフォントをゴシック体に戻す必要があると考える。